



よし、やってみよう！

Được rồi, làm thử nhé !

好，我自己来做！

こうちょう さいとう ようじ
 校長 齋藤 容二

早いもので、新年度も一月が過ぎようとしています。新年度にあたり、「横浜で一番よい学校を目指したい」とお伝えしましたが、ここまで、子どもたちのたくさんの素敵な姿を見つけることができ、とてもうれしく思っています。いくつか紹介します。



地域の協力で美しく咲いています

- 挨拶では、相手の顔を見て、元気に挨拶をしています。
- 朝会するとき静かに並んで待ち、話す人をしっかりと見て話を聞いています。
- 授業中の移動では、他の学級のことを考え静かに移動しています。
- 授業では、姿勢よく座り、先生や友達の話、話す人の顔を見ながら聞いています。
- 給食は、どの学級もほとんど残ることがありません。
- 委員会活動では、進んでリーダーに立候補し、学校全体のために活動しようとしています。

年度の初めには、先生と子どもたちとで学校のきまりを確かめ、目当てを設定し、それらを達成できるようにしようと頑張っています。学校全体で、みんなが安心して生活できるようにするためにきまりや目当てを意識することはとても大切なことです。子どもたちがそのことを理解し、できるように努力していることが素晴らしいです。

ある日、特に「すごいなあ」と感じたことがあったので紹介します。

給食の片付けの後、廊下で困っていた低学年の子がいたらしく、6年生が職員室へ連れてきていました。校長室からその様子を見聞きしていたのですが、6年生は低学年の子に対し、

「～ですって言ってごらん。大丈夫だよ。」

のように、職員室にいる職員への声のかけ方を伝えていたのです。

私は驚きました。低学年の子が困っているからといって、上級生として代わりに言うのではなく、本人から言えるようにと助け、励ましていたのです。

私たち大人も、つい思いやりのつもりで子どもの「代わりにやってしまう」ことが多くあります。ですが、代わりにやっていると子ども自身に行う力が付いていきません。子どもは自分で行ない、うまくいかなければ修正し、繰り返し行いながら自身の力としていくことができるのです。経験しながら学ぶ、失敗しながら学ぶのです。そうした経験を重ねることが、子どもの自信ともなっています。

失敗しない人はいません。失敗を恐れず「よし、やってみよう」と思い、チャレンジできる子どもをどんどん育てていきたいです。